

令和3年度 指定管理施設に係る事業報告概要

施設名	千代田区立内幸町ホール	所在地	千代田区内幸町1-5-1
-----	-------------	-----	--------------

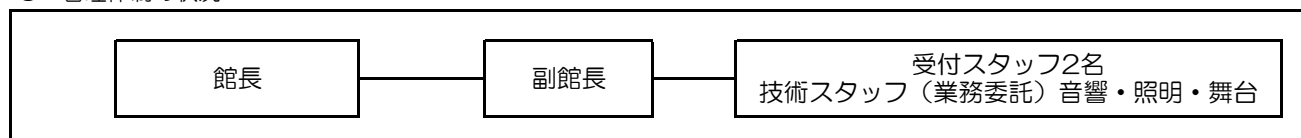
1 指定管理者の概要

名称	株式会社コンベンションリンケージ	代表者	平位 博昭
所在地	東京都千代田区三番町2 三番町KSビル		
指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日	報告期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日

2 管理施設の概要

施設の目的	千代田区の文化芸術の振興を図り、区民（区に住み、働き、学び、集うすべての人々をいう。以下同じ。）が演劇・音楽等の文化芸術活動を実践することができる場の提供、文化芸術活動を行う団体等の育成及び区民が文化芸術を享受することができる機会の提供を図ること、その他区民の利用に供することを目的とする。
管理業務の内容	(1) ホール施設及び付帯設備（以下「ホール等」という。）の利用承認等に関すること (2) 演劇・音楽等の公演その他の催し物に関すること (3) 区民の自主的な文化芸術活動意識の醸成に関すること (4) 文化芸術活動を行う区内の団体等の支援及び育成に関すること (5) ホール等の保守点検および施設設備の維持管理に関すること (6) その他ホールの目的を達成するために必要な事業

3 管理体制の状況



4 事業実績等

ア ホール利用実績

	年間日数	休館日数・メンテナンス日数	日単位の利用実績			利用区分別の利用実績		
			利用可能日数	実利用日数	利用率	利用可能区分数	実利用区分数	利用率
令和3年度	365	60	305	225	73.77%	906	537	59.27%
令和2年度	365	109	256	127	49.61%	761	276	36.27%
令和元年度	366	18	348	318	91.38%	1,012	831	82.11%

※令和2,3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、臨時休館や夜間の利用休止、客席数の制限を実施した。

イ 利用目的別件数

	演劇	音楽	舞踊	落語	朗読	その他	合計
令和3年度	16	124	11	50	10	32	243
令和2年度	0	68	0	38	6	20	132
令和元年度	22	154	35	112	41	53	417

ウ ホール主催事業

6演目実施（落語1回、音楽3回、体験教室1回、その他1回）

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2演目中止（朗読1回、オペラ1回）

エ ホール共催事業

内幸町ホール文化祭（7日間：13団体）

オ 施設等の維持管理業務

- ・建物、設備保守管理（害虫駆除を含む）
- ・施設清掃業務
- ・警備業務
- ・ピアノ、音響、照明、舞台保守点検
- ・防火防災管理点検
- ・防火対象物点検
- ・消防設備点検
- ・防火設備点検
- ・避難訓練
- ・水防訓練

5 収支の状況

収 入		支 出	
指定管理料	29,416,000円	人件費	19,293,580円
利用料金	19,972,150円	光熱水費	13,028,621円
主催事業	458,102円	事業費	3,281,492円
損失費用補填額	14,189,941円	施設運営維持管理費	39,300,806円
その他	11,235,788円	合計(②)	74,904,499円
合計(①)	75,271,981円		
収支差額(①-②)	367,482円		

【参考】令和2年度指定管理料 29,742,000円

6 指定管理者による自己評価

サービス提供に関して	収支に関して
<p>令和3年度も新型コロナウイルス感染症の影響が続いており、緊急事態宣言発出やまん延防止等重点措置適用に伴う臨時休館や夜間の利用休止等を実施した。こうした状況においても、常に所管課と緊密な連携をとりながらガイドラインの説明、感染症対策の周知を丁寧に行った結果、利用者からの苦情もなくご理解をいただいた。</p> <p>また、検温器・アルコール消毒液の設置や施設内の消毒、感染症対策啓発ポスターの掲示などを行い、安心してご利用いただけるよう努めた。更に令和3年10月から「千代田区新しい日常店」認証を受けており、館内のCo2濃度を計測、記録した。</p> <p>総じて感染症対策に努めながらの1年であったが、利用件数が昨年度の2倍近く増加したのは良い兆しであり、ホールの感染症対策と提供するサービスに大変満足していただいたものと評価している。</p> <p>今後とも区民の文化力の底上げを図るとともに、どんな小さな利用においても「感動」を提供できるよう努めたい。</p>	<p>収入面では、新型コロナウイルス感染拡大防止による臨時休館や夜間の利用休止、客席数の制限などを実施した結果、会場利用料収入や付帯設備料収入は予算より大きく落ち込んだが、昨年度と比較すると利用が戻ってきており、利用料収入は前年比2.4倍となった。ただ、コロナ禍前の状況と比較すると6割弱の収入となっている。こうした減収分に対しては区から損失補填を受け、ホールの管理運営を継続することができた。</p> <p>支出面では、利用制限により、光熱水費、事業費、施設運営維持管理費が予算より1~2割減少した。</p> <p>今後も新型コロナウイルス感染症への対応は続くが、引き続き効率的かつ安全な運営に努め、コストパフォーマンスに配慮した運営を心がける。</p>

7 区による評価・業務改善要求

<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、臨時休館や夜間の利用休止、客席数の制限を実施したが、少しずつ利用回復の兆しも見えており、昨年度より利用件数が倍近く増えたことは評価できる。これは利用者への周知の成果ともいえ、キャンセル対応や感染症対策のみならず、ホールの運営のために工夫を凝らし、非常に尽力していることが伺える。また、ホールの主催事業では、桃月庵白酒独演会やシャンソンコンクールなど、若手へ活動の場を支援しつつも独自性のある事業を実施しており、コロナ禍においても区民に文化芸術に親しむ機会を提供していることが評価できる。</p>

8 今後の指定管理に区が期待すること

<p>新型コロナウイルス感染症の影響が引き続き中ではあるが、今後も利用者が安心して利用できるような感染症対策を講じ、従前の実施内容に捉われない新たなジャンルの事業や、これまでのノウハウを活かした質の高い利用者サービスの提供を求めらる。</p>
